

# 福島第一原子力発電所の敷地境界外に影響を 与えるリスク総点検に関わる対応状況

2015年9月28日

東京電力株式会社



東京電力

---

リスク総点検において、190項目（液体漏出：159項目、ダスト発生：31項目）について抽出し、体系的に整理した（4月28日公表）。整理結果を受けた総点検後の対応状況を示す。

- 「対策が必要」と評価した21項目については、対策の実施内容及び実施時期の計画を策定した（前々回報告済）。
- 「調査が必要」と評価した45項目については、調査方法の検討、調査計画の立案などを実施し、スケジュール表に取り纏めた（前回報告済）。
- その他、124項目については、総点検において「対策済み」、「対策中」、「リスクが十分に低い」と整理しており、今後実施するリスク総点検の定期的な見直しにおいて、これら対策の効果や廃炉作業の進捗に応じた状況の変化を確認し、継続的に管理していく。
- 現在対策中の項目及び今後調査・対策を実施する項目については、各対策の優先順位を考慮しつつ、全体としてリスク低減となるよう、必要な調整を行っていく。

# 対応状況

■リスク総点検で整理したリスクに対する対策・調査の主な進捗は以下の通り。

カテゴリ		件名数		備考
		2015.4公表時点	2015.9時点	
①	調査が必要	56 <sup>※1</sup> (45)	51	(1) 調査の結果、対策が必要と判断した件名 : 1件(②に移行) (2) 調査の結果、対策が必要と判断し、対策実施中の件名 : 2件(③に移行) (3) 調査の結果、対策が必要と判断し、対策が完了した件名 : 1件(④に移行) (4) 調査の結果、対策が不要と判断した件名 : 1件(⑤に移行)
②	対策が必要	21	19	(5) 対策に着手し、現在実施中の件名 : 3件(③に移行)
③	対策実施中 <sup>※2</sup>	55	56	(6) 対策が完了した件名 : 4件(④に移行)
④	対策実施後の 状況観察中	47	52	
⑤	現状では 対策不要	22	23	
合 計		201(190)	201	

※1 : 「調査が必要」な項目については対応の進捗や内容に応じ都度分割・統合等を行っており、  
前回の現地調整会議において56件名にて示している。(括弧内の数値は4月公表時点の項目数)

※2 : 「対策実施中」の項目については、次回現地調整会議にてスケジュールを示す予定

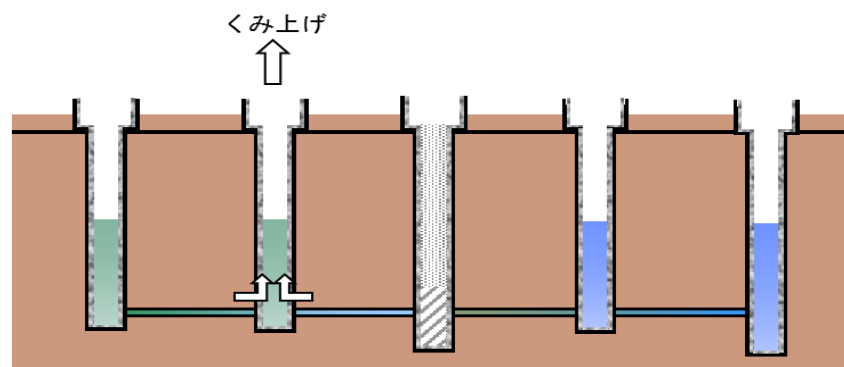
# 個別対策の実施状況

	対応の進捗	件名	リスク	対応内容	リスク総点検 管理番号
(1)	①「調査が必要」 →②「対策が必要」 に移行	1～6号RW及び集中RW 中和用硫酸・苛性タンク、 5・6号機中和用硫酸・苛 性タンク	薬品が漏えいするリスクが ある。	薬品の処分方法について検 討を行う。	No.2-2 (2015.8現地調整会 議資料)
(2)	①「調査が必要」 →③「対策実施中」 に移行	3号機周辺瓦礫置き場	3号機SFP内から瓦礫撤去 を実施中であるが、撤去し た瓦礫の汚染が、雨水とと もにK排水路から流出する リスクがある。	・燃料交換機吊下ろし時は、 落水対策として床面のシート 養生を実施する ・小割解体した瓦礫は、瓦礫 保管場所へ運搬する	No.1-1 (2015.8現地調整会 議資料)
		集中RW重油タンク、集中 RW軽油タンク、海生物処 理設備重油タンク	危険物が漏えいするリスク がある。	重油・軽油タンクについては、 タンクより抜き出し、危険物 貯蔵庫へ保管する。順次抜 き取りを実施中。	No.2-1 (2015.8現地調整会 議資料)
(3)	①「調査が必要」 →④「対策実施後の 状況観察中」 に移行	2号廃液サージタンク	タンク内に震災前より保有 している水が、タンク腐食 等により漏洩するリスクが あった。	タンク内の水抜きを実施(8月 完了) ※今後、タンク撤去予定	No.3 (2015.8現地調整会 議資料)
(4)	①「調査が必要」 →⑤「現状では対策 不要」 に移行	屋外変圧器油貯蔵タンク 防油堤、絶縁油貯蔵タン ク防油堤、予備変防油堤、 所内共通変圧器防油堤	防油堤内の雨水が汚染し ていると排水路から汚染 水が海洋へ流出するリス クがある。	調査の結果、汚染が確認さ れなかった為、対策不要と判 断した。	No.4 (2015.8現地調整会 議資料)

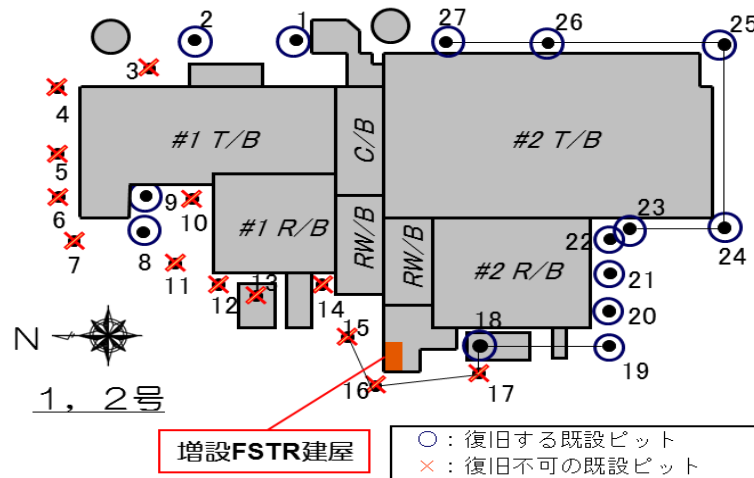
# 個別対策の実施状況

	対応の進捗	件名	リスク	対応内容	リスク総点検 管理番号
(5)	②「対策が必要」 →③「対策実施中」 に移行	汚染水貯留設備(フランジ タンク解体・残水処理)	解体・残水処理中にダスト が発生するリスクがあ る。	解体・残水処理に合わせ、飛散 抑制防止対策(先行塗装、散水 集塵機、監視等)を実施中。	No.7 (2015.7現地調整会 議資料)
		汚染水貯留設備(フランジ タンク切断)	フランジタンク切断時に ダストが発生するリス クがある。	フランジタンク切断に合わせ、 飛散抑制防止対策(囲い、局所 排風機)を実施中。	No.8 (2015.7現地調整会 議資料)
		サブドレンピットNo.16 (別紙1 参照)	ピット内から周辺地下 水へ流出する等のリス クがある。	断続的にくみ上げを繰 り返し、状況観察を 実施中(今後も継続 予定)。	No.1 (2015.7現地調整会 議資料)
(6)	③「対策実施中」 →④「対策実施後の 状況観察中」 に移行	2号機海水配管トレンチ	トレンチから汚染水が漏 えいするリスクがあ る。	水抜き・コンクリート充 填が7月に完了(資 料No.①-8参照)	No.96 (2015.4公表資料)
		3号機海水配管トレンチ	トレンチから汚染水が漏 えいするリスクがあ る。	水抜き・コンクリート充 填が8月に完了(資 料No.①-8参照)	No.97 (2015.4公表資料)
		RO濃縮塩水貯留タンク(フ ランジタンク)	タンクからRO濃縮塩水 が漏えいするリス クがある。	RO濃縮塩水処理が5 月に完了	No.47 (2015.4公表資料)
		RO濃縮塩水貯留タンク (溶接タンク)	タンクからRO濃縮塩水 が漏えいするリス クがある。	RO濃縮塩水処理が5 月に完了	No.55 (2015.4公表資料)

# 別紙1. サブドレンNo.16ピットの対応状況について



No. 15      No. 16      No. 17\*      No. 18      No. 19  
 ※ No.17ピットはコンクリートで閉塞済。内包水無し。



- 月1回程度溜まり水の汲み上げを行うこととし、第4回目として8/27に約20m<sup>3</sup>の汲み上げを実施。
- 今回汲み上げ前の放射能濃度は、3回目汲み上げ後と比較し低下しているが、汲み上げ前後での放射能濃度の同程度であった。
- 今後も月1回程度溜まり水の汲み上げを行い、継続的に水質の変化を確認していく。

		1回目 汲み上げ後 (2015.5.22~24)	2回目 汲み上げ後 (2015.7.14~21)	3回目 汲み上げ後 (2015.7.28~29)	4回目 汲み上げ後 (2015.8.27)
採水日	2014.10.29	2015.5.25	2015.7.22	2015.7.29	2015.8.27
Cs-134	850,000	83,000	150,000	140,000	63,000
Cs-137	2,900,000	340,000	630,000	640,000	280,000
全β	3,200,000	390,000	770,000	710,000	350,000
H-3	84,000	4,100	6,000	5,000	2,200

(Bq/L)